2026 年 5 月 19 日
株式会社サイエンスアーツ（東証グロース:4412）
楽天モバイル株式会社

楽天モバイルとサイエンスアーツ、「Rakuten AI for Business」と「Buddycom」の連携による現場音声の活用に向けた取り組みを開始

楽天モバイル株式会社（以下「楽天モバイル」）と株式会社サイエンスアーツ（以下「サイエンスアーツ」）は、楽天モバイルが提供する法人向け生成 AI サービス「Rakuten AI for Business」※1と、サイエンスアーツが提供するライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」（バディコム）の連携に向けた取り組み（以下「本取り組み」）を開始しました。

本取り組みでは、両サービスを連携させることで、現場で発生する音声データの活用を促進し、現場業務の効率化を目指します。

楽天モバイルとサイエンスアーツは、楽天モバイルが法人のお客様向けに提供する「Rakuten 最強プラン ビジネス」と「Buddycom」のセットプランの販売を強化することを目的に、2024 年 10 月 15 日に業務提携契約書を締結しました※2。本取り組みは、その提携の一環で、現在サービス開発段階にあり、2026 年中に段階的なサービス提供開始を予定しています。

楽天モバイルとサイエンスアーツは、これまでの協業で培った知見と技術を生かし、今後も音声と AI を活用した DX の推進に貢献すべく、引き続き共同で開発を進めてまいります。

本取り組みに関心をお持ちの法人のお客様は、以下のお問い合わせフォームよりご連絡ください。
「Rakuten AI for Business」×「Buddycom」お問い合わせフォーム
https://business.mobile.rakuten.co.jp/recommended-plan/rakuten-ai-for-business_buddycom/

■Buddycom とは（https://buddycom.net/）



フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム
「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi®）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。
利用実績は、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種にわたり、コミュニケーション手段としての活用がされています。

株式会社サイエンスアーツ　について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発・販売を行っております。2021 年に東証マザーズに上場（現在はグロースに移行）し、現在では 5 年連続シェア No.1※3 を獲得しました。今後も、スタッフ間コミュニケーションに留まらず、スタッフとお客様、スタッフと AI を美しくつなげることで、フロントラインワーカーが明るく笑顔で働ける社会を目指してまいります。

※1 Rakuten、楽天モバイル、Rakuten Mobile は、楽天グループ株式会社の登録商標です。
※2 関連プレスリリース： 楽天とサイエンスアーツ、協業を通じたシナジー強化を目的に資本業務提携
https://buddycom.net/news/news-20241015-2/
※3 音声（映像）コミュニケーションツール出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）デロイト トーマツ ミック経済研究所「デスクレス SaaS 市場の実態と展望 2025 年度版」

◆　お問い合わせ先

【社名】　株式会社サイエンスアーツ
【所在地】　東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2－5 MFPR 渋谷ビル 5F
【代表取締役社長】　平岡 竜太朗
【資本金】　4.5 億円
【設立】　2003 年 9 月
【E-mail】　pr@science-arts.com
【Web サイト】　https://buddycom.net/